

予算概要

暮らし応援政策

Support of the life

◎一般会計

歳出



目的別歳出

その他	1億519万円(2.2%)
商工費	1億5181万円(3.2%)
公債費	2億211万円(4.2%)
農林水産業費	2億716万円(4.3%) 地域交流パーク建設工事:1262万円
消防費	2億4117万円(5.1%)
衛生費	2億8682万円(6.0%) 子ども医療給付事業:1916万円 がん検診等委託料:1214万円
教育費	4億4354万円(9.3%) 調理・配食等業務委託料:3083万円 スクールバス運行業務委託料:2835万円 外国語指導助手派遣業務委託料:601万円 スポーツ広場グラウンド整備工事:550万円
土木費	6億9559万円(14.6%) 道路新設改良工事:1億8000万円 地籍調査事業費:5112万円 芝山公園管理委託料:4891万円 町内全域路線維持補修工事:3600万円
民生費	9億8993万円(20.8%) 児童措置費:1億528万円 自立支援事業(介護給付・訓練等給付費):1億981万円 療養給付費負担金:7058万円 福祉センター管理運営委託料:3410万円
総務費	14億4168万円(30.3%) 防音家屋空調施設維持費補助金:1億1045万円 芝山鉄道運営費助成金:1億1000万円 航空機騒音対策補助金:5457万円 住宅防音工事関係補助金:4962万円 固定資産台帳及び 公共施設等総合管理計画整備業務委託料:1992万円 町民バス運行委託料:1950万円 デマンド交通業務委託料:1708万円 番号制度(マイナンバー)導入事業費:1503万円

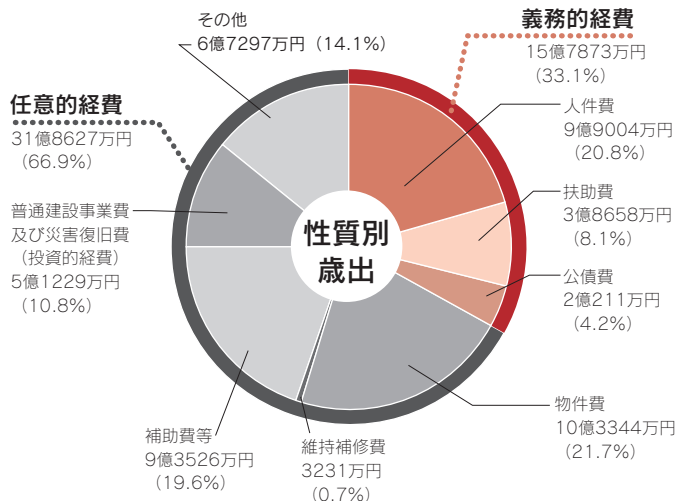
今年度の当初予算は、一般会計が平成26年度に比べて4.4%増加し、47億6500万円となった。

財政運用

Public finance



3月17日 みつば幼稚園修了証書授与式





平成27年度一般会計予算 47億6500万円

※町民一人あたりに使う予算はおよそ62万円

◎一般会計

歳入

予算の見方は
ここもチェック

◆自主財源・依存財源◆

町税や諸収入、分担金、負担金など町が自主的に徴収できる財源を「自主財源」、また地方交付税、国・県支出金、町債などのように国・県からの交付、またはその意志決定による財源を「依存財源」といいます。

歳入に占める自主財源の割合が多いほど、自立安定した財政運営がしやすくなります。

◆一般財源・特定財源◆

使い道が特定されずどの経費にも使用できる財源を一般財源といい、町税、地方交付税、地方贈与税、交付金などが代表的なものとされます。歳入に占める割合が大きいくほど、財政が安定し、自主的施策が実施できる自治体ということになります。これに対し使い道が定められている財源を特定財源といい、国庫補助金や県支出金などが代表的なもので、決められた使い道以外に使うと返還を求められるなどの制約があります。

依存財源 11億2951万円 23.7%	地方交付税 1億2900万円(2.7%)
	町債 1億9691万円(4.1%)
	国・県支出金 4億1498万円(8.7%)
自主財源 36億3549万円 76.3%	地方譲与税及び各交付金 3億8863万円(8.2%)
	町税 22億8588万円(48.0%)
	内訳
	固定資産税16億310万円
	町民税5億6778万円
	(個人)2億9916万円
	(法人)2億6862万円
	町たばこ税9064万円
	軽自動車税2436万円
	分担金及び負担金 6617万円(1.4%)
繰入金 2億5990万円(5.5%)	
諸収入 8億8381万円(18.5%)	
その他 1億3973万円(2.9%)	

() 内構成比

72億4666万円

特別会計と合わせた今年度の総予算は

◎特別会計予算～ ()内は前年比～.....総額24億8166万円

■国民健康保険

農業や自営業などが加入する健康保険に関する会計。
13億4530万円(2億3571万円)

■農業集落排水事業

農村環境整備のための下水道整備を行う会計。
7331万円(434万円)

■公共下水道事業

市街地の下水道整備のための会計。
4億1917万円(△1890万円)

■介護保険

各種介護サービス費を負担する会計。
5億7241万円(835万円)

■後期高齢者医療

老人保健に代わり75歳以上の方の医療費をまかなうための会計。
7147万円(△212万円)